

2008年6月

「オリセット®ネット」の増産について
～ ナイジェリア計画 ～

住友化学は、マラリア予防用に防虫剤を練り込んだ蚊帳「オリセット®ネット」に関し、アフリカでの増大する需要に応じるため、このたび、ナイジェリアにおいて、新たに生産拠点を設置することといたしました。進出の方法や時期などについては、今後詳細を詰めてまいります。生産能力として最大 2,000 万張/年を想定しております。これにより、現地で 5,000 人以上の雇用創出を見込んでおります。

住友化学は、2003年にタンザニアの蚊帳メーカー「A to Z Textile Mills Limited」(「A to Z社」)に「オリセット®ネット」の技術を無償供与し生産を開始、その後2007年にはA to Z社関連企業との合弁会社「Vector Health International Limited」(「ベクターヘルス社」)の工場を稼働させ、現在、アフリカでの生産能力は約 1,000 万張/年となっています。タンザニアでは既にオリセット関連の直接雇用従業員数が約 3,200 人となるなど、現地の雇用や経済発展にも貢献しています。当社は、これまでアフリカ東部地域を中心に展開してきた「オリセット®ネット」事業に関し、西部地域でも本格展開することを検討してまいりましたが、人口も多く、マラリアが多発するナイジェリアで、新たな生産を始めることとしたものです。

住友化学が開発した「オリセット®ネット」は、耐久性に優れ、洗濯しても防虫効果が5年以上持続する点が特長で、経済的かつ効果的にマラリアを媒介する蚊から身を守ることができるため、WHOなどの国際機関から高く評価され使用が推奨されています。

世界では、毎年5億人以上がマラリアを発症し、100万人以上が亡くなっています。その90%以上がサハラ以南のアフリカで発生し、犠牲者の多くは5歳以下の幼い子供です。また、マラリアによる経済損失は年間120億ドルといわれており、アフリカの経済発展のためにも、マラリアの防圧は不可欠です。

住友化学は、引き続き、国際機関とも協力し必要とされる方々に「オリセット®ネット」をお届けできるよう、生産体制の充実を図ってまいります。

以 上